

定例会報告

7月5日(金)から31日(水)にかけて、2019年第2回定例会が開催されました。

3月の第1回定例会では、最低限必要な経費を盛り込んで編成する「骨格予算」として、総額5,815億7,900万円の予算案が可決されています。

今定例会では、再選された広瀬知事の意向を反映する647億6,300万円（総額6,463億円4,200万円）で、昨年度比4.8%増となり近年では最大規模の「肉付け予算」が補正予算として提案され可決されました。

借金にあたる県債の残高は対前年度比で80億円増加していますが、知事は次の世代に向けた責任として、減災対策や人口減少対策など緊急性の高い課題解決に手を打つ、「攻め」の予算と説明しています。

また、人事案件では、10年間副知事を務められた二日市具正氏が退任し、尾野賢治氏（元総務部長）が就任されました。



予算特別委員会の審議の様子【庁内放送より】

会期中には、「肉付け予算」を集中審議する予算特別委員会も開催され、私も質疑に立ちました。

新たな事業を紹介 可決された「肉付け予算」から

本紙面では、新事業の中から特にお知らせしたい5事業を紹介します。（ ）は予算額

バス乗務員確保対策支援事業（1,645万円）

地域のバス路線維持のために、路線バス事業者の乗務員確保の取り組みを支援します。

この背景には、バス路線の廃止の原因が「採算が取れない」というだけでなく、乗務員の不足もあるとされています。

県外若年者UIJターン促進事業（1億6,491万円）

本県からの県外進学者が最も多い福岡県における若年人材確保対策を強化するため、福岡市中心部に県内企業の情報発信や就職相談を行う拠点を設置し、福岡在住の学生や早期離職者等を県内就職へ誘導します。

「おおいたの有機」産地づくり加速化事業（2,430万円）

高単価取引が期待できる有機農業の産地拡大と事業体の経営力強化を図るため、トップランナーの連携による共同出荷体制の整備を進めるとともに、県産有機農産物の認知度向上に取り組みます。

ベビーリーフの生産者など複数の事業体の指定を想定しているとのこと。

親なきあと支援体制構築事業（476万円）

障がいのある方が、「親なきあと」にも引き続き地域で生活していけるようにするため、市町村による支援体制づくりを支援するとともに、相談支援を行う専門員等に対するスキルアップ研修等を実施します。

県立学校施設整備事業【一部新規事業】（13億1,265万円）

国東高校の分校である双国校の生徒募集停止、国東高校に農業土木系学科の新設、それに伴い寄宿舎を整備します。

御存知ですか？

おおいた動物愛護センター

2月17日(日)、大分市大字廻栖野にある九州乳業のみどりの王国「マザーランド」内におおいた動物愛護センターがオープンしました。

おおいた動物愛護センターは、大分県と大分市が共同設置・運営する施設で、設立趣旨として、①責任ある飼育の指導と啓発、②動物福祉の教育と共生意識の醸成、③収容犬・猫の返還と譲渡、④災害等緊急時被災動物の避難救護活動拠点の4つを掲げています。犬や猫の譲渡会やしつけ教室も行われ、ドッグランを利用することもできます。

この動物愛護センターの開設に向けて、私も県議会で積極的に発言してきました。これからも、殺処分数をもっと減らしていくために、また愛犬家の一人としても、おおいた動物愛護センターを応援していきたいと考えています。



佐伯所長と



譲渡を待つワンちゃん



ドッグラン



譲渡情報が掲載されたHP

私が所属しています県民クラブもHPを開設していますので御覧下さい。

HPのアドレスが変わりました。

<http://www.oct-net.ne.jp/kenmin-club/>

大分県議会 県民クラブ

検索

